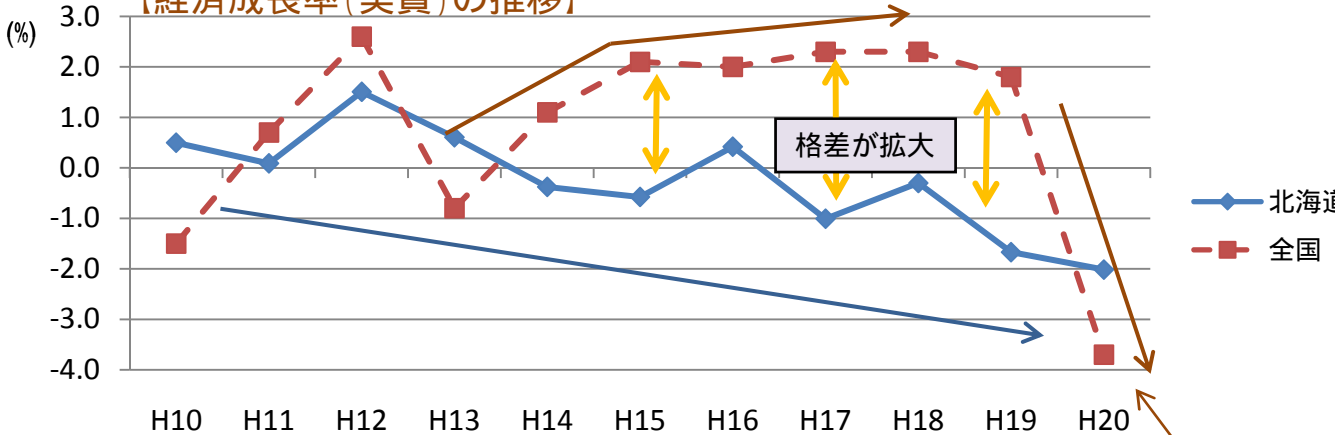


1 経済成長率の推移

マイナス成長が続く北海道経済

- 全国的には、H14年度以降、景気は回復傾向にあったものの、本道経済はその波に乗り切れず、H16年度(+0.6%成長)を除くと、マイナス成長が継続。
- リーマンショック後についても、全国的な景気回復の動きに比べ、本道の回復の動きは遅い。

【経済成長率(実質)の推移】



(出典:道民経済計算、国民経済計算、最新データはH20)

リーマンショックにより成長率は大幅マイナス



【直近の経済概況】

凡例 景気判断上方修正、 景気判断据置、 景気判断下方修正

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道内													
全国													

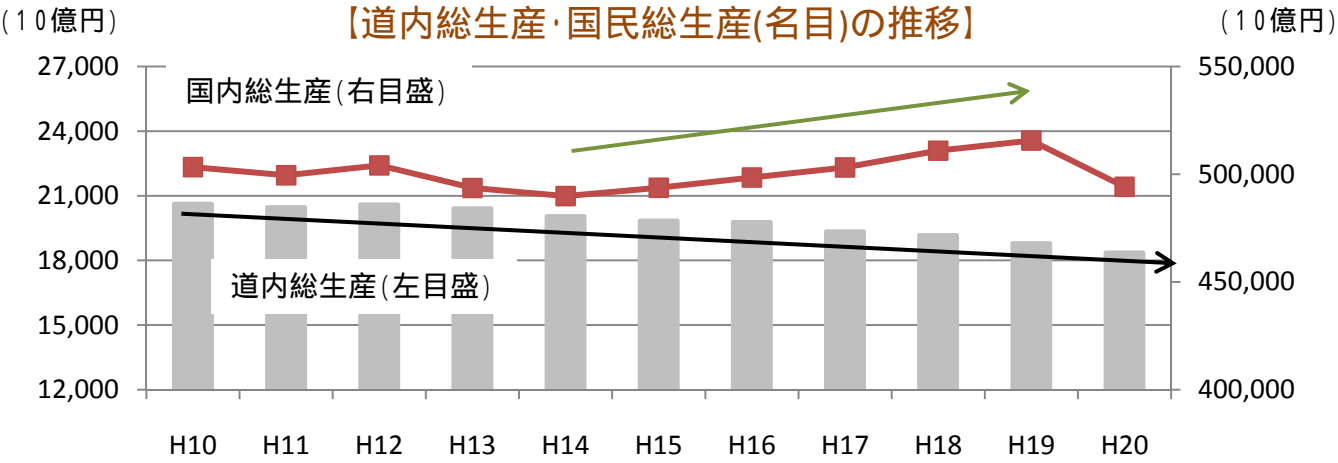
(出典:最近の管内経済概況(道経産局)、月例経済報告(内閣府))

2 道内総生産の推移

総生産額も減少が続き、全国との経済格差も拡大。非常に厳しい状況。

- ・ H20年度の道内総生産額は、18.4兆円となっており、H10年度と比較すると、2.3兆円の減少。
全国に占める道内シェアも0.5ポイント減少。

- ・ その結果、全国における順位も、H10年度の6位からH19年度は9位へ、3ランクダウンとなっている。(H20年度のランキングは未集計)



	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	(H20-H10)
道内総生産	20.6	20.5	20.6	20.4	20.0	19.8	19.8	19.3	19.2	18.8	18.4	2.3
国内総生産	503.3	499.5	504.1	493.6	489.9	493.7	498.5	503.2	510.9	515.7	494.2	9.1
全国シェア	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.0%	4.0%	3.8%	3.8%	3.6%	3.7%	0.4%

【都道府県別総生産(名目)のランキング推移】

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
1位	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都
2位	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府	大阪府
3位	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県	愛知県
4位	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県
5位	兵庫県	北海道	埼玉県	北海道	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県
6位	北海道	埼玉県	北海道	埼玉県	北海道	北海道	北海道	北海道	兵庫県	千葉県
7位	埼玉県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	兵庫県	千葉県	兵庫県
8位	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	北海道	福岡県
9位	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	福岡県	北海道
10位	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県	静岡県

(出典: 道民経済計算、最新データはH19)

3 域際収支（時系列推移）

域際収支は、H20年度で1.6兆円の入超となっているものの、この5年間は概ね減少傾向

その要因としては、次の要素がともに貢献。（過去5年で約6,000億円減少）

移出・輸出額の増加。（過去5年で約5,000億円貢献）

鉄鋼や電気機械などの製造業、商業などサービス産業の増加。

移入・輸入の減少。（過去5年で約1,000億円貢献）

【域際収支の時系列推移】

（出典：道民経済計算、最新データはH20）（億円）

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	(H20-H15)
移輸出	51,684	5,2408	54,820	57,914	58,302	56,918	5,234
移輸入	73,566	71,941	72,270	72,823	73106	72,531	1,035
域際収支	21,882	19,533	17,451	14,909	14,803	15,613	6,269

【域際収支の業種別時系列比較】

（出典：経済産業局）（億円）

		域際収支		H17-H12
		H12	H17	
農林水産業		2,356	3,692	1,336
鉱業		2,554	6,008	3,454
製造業		31,355	28,061	3,294
（主なもの）	飲食料品	3,657	1,769	1,888
	パルプ・紙	2,366	1,860	506
	化学製品	6,349	6,215	134
	石油・石炭製品	1,415	497	918
	鉄鋼製品	132	896	1,028
	非鉄金属製品	744	709	35
	金属製品	1,640	1,368	272
	一般機械	4,205	4,414	209
	電気機械	7,534	5,652	1,882
	輸送機械	4,454	4,901	447
建設業		130	123	7
サービス産業		6,766	3,845	2,921
（主なもの）	公益事業	758	351	407
	商業	3,307	893	4,200
	運輸	4,263	3,918	345
	情報通信	4,891	4,419	472
	対事業所サービス	3,214	2,254	960
	対個人サービス	3,220	483	2,737
産業計				

4 域際収支（業種別）

業種別では、食関連産業や観光産業が黒字を稼いでいる一方で、工業製品などが赤字となっている。

【域際収支の黒字上位業種】

運輸(プラス3,900億円)、 農林水産業(プラス3,700億円)、
飲食料品(プラス1,800億円)

【域際収支の赤字上位業種】

化学製品(マイナス6,200億円)、 鉱業(マイナス6,000億円)、
電気機械(マイナス5,700億円)

(出典：H17北海道経済産業局)

【業種別域際収支(比較)】

単位：百万円

	輸出+移出	輸入+移入	域際収支
農林水産業	734,482	365,289	369,193
鉱業	44,562	645,421	600,859
飲食料品	1,289,285	1,112,388	176,897
繊維製品	13,952	272,219	258,267
製材・木製品・家具	118,450	156,795	38,345
パルプ・紙・板紙・加工紙	320,774	134,787	185,987
化学製品	103,785	725,281	621,496
石油・石炭製品	487,143	536,803	49,660
プラスチック製品	16,629	122,961	106,332
窯業・土石製品	45,020	83,941	38,921
鉄鋼製品	249,379	159,780	89,599
非鉄金属製品	14,148	85,047	70,899
金属製品	61,013	197,795	136,782
一般機械	93,589	534,988	441,399
電気機械	216,130	781,342	565,212
輸送機械	203,368	693,546	490,178
精密機械	4,705	120,041	115,336
その他の製造工業製品	49,645	375,430	325,785
建設	724	12,992	12,268
公益事業	3,319	38,420	35,101
商業	1,685,829	1,596,540	89,289
金融・保険・不動産	41,980	130,919	88,939
運輸	962,316	570,500	391,816
情報通信	105,024	546,910	441,886
公務・教育・研究	26,383	141,268	114,885
医療・保健・社会保障・介護	21,366	1,254	20,112
対事業所サービス	117,371	342,805	225,434
対個人サービス	266,737	218,368	48,369
その他生産部門	1,781	29,610	27,829
産 業 計	7,298,889	10,733,440	3,434,551

